

特56

337

無難禪師法語

卷上

019855-001-4

特56-337

無難禪師法語

無難/著

M22.6

ABG-0731



京都臨濟宗  
大德寺龍雲軒御藏版  
大木山

# 無難禪師法語 全三冊

東京 千鍾房發售



特56  
337



無難禪師假名法語二卷余珍藏  
之舊矣是殊師老後筆從頭徹尾  
為後進之指南車而霧中子午盤  
矣其語諄諄披卷乃如接龐眉凡  
我宗師語錄以國字記者甚稀也  
唯及師之嫡孫白隱禪師愈出愈  
親蓋婆心之切取諸其易曉亦猶  
漢土諸師用當時俗語耳古人曰  
言近而旨遠者善言也其謂是歟



京都臨濟宗  
大德寺龍雲軒御藏版  
大木山

# 無難禪師法語 全三冊

東京 千鍾房發售



特56  
337



無難禪師假名法語二卷余珍藏  
之舊矣是殊師老後筆從頭徹尾  
為後進之指南車而霧中子午盤  
矣其語諄諄披卷乃如接龐眉凡  
我宗師語錄以國字記者甚稀也  
唯及師之嫡孫白隱禪師愈出愈  
親蓋婆心之切取諸其易曉亦猶  
漢土諸師用當時俗語耳古人曰  
言近而旨遠者善言也其謂是與





那羅延の力に勝るものありては、  
くもくもくといふものありては、  
金剛の力に勝るものありては、  
那の川の川に勝るものありては、  
けしきもやとせよとあや

延寶乙卯孟春書く

玉子菴主



志連の迷ひをく稱の迷ひは乃道  
あまのなげのまねとらん  
けしき乃世のまねは乃道あまの  
一佛取むたみなり日本の前生の佛  
あらし一悪気あや悪気とらふ身  
を思ふおの迷ひの報ありまう我  
身入りあまのまねとらふの思ふに  
まてあまのまねとらふの思ふに  
知る事あまの死おの病之負者





せうそまうそと世に佛それらそ我宗  
の悟なり書入守り結くよのくらす  
つひくはらきしきるあやまらあ  
飛り船一万物一りおあし思ふ事し  
あし悦よと合くあし心禅ハ第悟  
とあしんりく悟まらせ修行すまハ  
日く夜く安樂せうそふ事かた身  
業はにんそとあしんりく身業は  
りしんりそとあしんりく身業は

そは安し安からるゆへ日本ハ身  
と思ふのあしんりく佛あしんりく身業は  
あしんりくあしんりく

一阿は師の弟子あしんりく坐禅志しん  
我のそあしんりく坐禅志しん  
その中くあしんりく坐禅志しん  
みあしんりく坐禅志しん  
佛道師あしんりく坐禅志しん  
とちん事あしんりく坐禅志しん







樹下石上の百病を治す法の出家  
の心——善の心——の心をよく  
我身に八万四千の悪あるものなりとも并  
また将とかいへく色欲利欲生死嫉  
妬名利けある世のほひあり退治  
——晝夜惜となく——身の悪と不  
ろろ——清淨もある——惜となく本心  
ありもの乞非邪正と徳あり邪を去  
正とよく——護の善に坐禅志

て如來をてんがらうかへんあり  
年月切法あり——守正安んず——  
いよくおこすは——及く忠欲  
とらうの——悟成就——  
志あり——善の心——平業あり  
も切法あり後おぼくありあり  
はよあるかして——ありあり  
くつり世間のいよくあり上根機の心は  
善と圓のいよく——中根機の心

方便よくて坐禅する事も根柢は人  
念佛よくて故世も終つてもかくのと  
く人よむも終つても終つてもかく  
愚かしくかく

一 平らちたもあつ侍の侍の童子  
このまはるるのまはるるのまはるる  
てまはるるのまはるるのまはるる  
あまはるるのまはるるのまはるる  
およもはるるのまはるるのまはるる

一 童子此はよく法師はあつかく  
ちくちくちくちくちくちくちくちく  
一筋の心はよくあつちくちくちく  
形りちくちくちくちくちくちくちく  
ちくちくちくちくちくちくちくちく

一 あつちくちくちくちくちくちくちく  
みちくちくちくちくちくちくちくちく  
束世一物はちくちくのちくちくのちくちく  
ちくちくちくちくちくちくちくちく

法の気相よ法なるが如く入るが如く出るが如く  
て約住坐卧性よまるが如く身よ法よ  
るに佛法よまる

一見性する半く一とあるが如く法よ法よ  
安よわくび万物たより法よ法よあくる  
気相よ海くく気相よとらふも煩悩よ  
恒く煩悩よとらふも死く死く生きて  
生じてくく聞てすびくく法くく  
くすものよとらふも法よ法よ

けくくく因果よとらふが如く  
ハ不及菩薩の如く一故は佛よとらふ  
一迷ひて此身よ法よとらふが如く  
身よ法よ

一法よ法の如く入るが如く出るが如く  
乃愚て人多よまよありが如く  
迷ひ實よ迷ひて法よとらふが如く  
くありが如く法よとらふが如く  
法よ法よとらふが如く





一 大道よ入人たりける佛よわたるべらるを  
くまの室よいらのこよひをこむたをける阿  
やまの形の大道よむらむんて人の方法乃  
あくるみよ身のおむむらむんて外地  
外古々未來へごとあむらむのほのされを  
よくむらむらむのしよむのたのてん身  
の業はきんて清浄にける事とひひ  
一 今よむらむの佛道はむらむの外はあす  
その今よむらむの身は佛

よむらむの

一 何人よ大業よむらむの身とた  
きんて大業よむらむの身とた  
一 最上業よむらむの身とた  
あむらむの事よむらむの事  
ありける事よむらむの事  
一 予が事よむらむの事  
よむらむの事よむらむの事  
用は洛禪師の聽法無依の道人有



無依とゆへんかた又無得との後なり  
六祖大師の應無所住而生其心と云ふを  
ゆへんとしむるなり

一世の事なり此法との事知んすれし  
釋迦如來此法二千六百年餘なり日  
本に傳はりて千年に及むと云くくす  
は法はけく愆と云わたり万物のす  
は我智なり智は信のたると信す  
は万法のたると信なり信のすは

なり此智より何の事なりす  
と世の事なり此法との事  
めぬはよと云ふなりたると  
わづらひなり此法との事  
一大道なり此法との事  
去方法の事なり此法との事  
家の法なり此法との事  
なり心はぬるなり此法との事  
用得ずなりたると此法との事











Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of cursive script.





佛の御心願を

身に成すは御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

念佛行者

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

あまの佛と御心願の御心願  
も起る佛の御心願の御心願  
は御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願の御心願

は御心願の御心願

あはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん  
道とすらん  
あはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん

坐禅の方便

せぬんたの坐禅よ入の御心なすらん  
あはれなる御心なすらん

は

佛神まじりて御心なすらん  
たはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん

念佛行者よ

佛と何なるも御心なすらん  
あはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん  
あはれなる御心なすらん



草木國土悉皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛

草木國土悉皆成佛

草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛

草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛  
草の身も木の花も皆成佛





生死もあらずなほあはるやほはく  
縁もんとらふやうらつらりおら

佛とちふんや

世中の人お心のあはるは  
あはるやうある佛おんきり  
いよとんたれさくちあはるのあはる  
んんんんんんんんんんんん  
たるぬのうん

きりとそあはるちらりおら

念佛行者よ

みよ佛乃ちちひのあはるは  
えれりらりあはるんんんんんん

已身淨院唯心淨土

まらちよるびあはる佛とあはるは  
かたけしんんんんんんんんんん

趙州和尚同僧問云物子還佛性  
有也無列云無

春のつとあつ詞乃障外  
むとねのさぬらなをむとねの  
趙川のむとねのつとねのつとねの  
いふつとねのつとねのつとねの

庭前栢樹子

草木と園とつとねのつとねの  
実のつとねのつとねのつとねの

麻三斤

佛つとねのつとねの麻三斤

あつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねの

本来のつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねのつとねの

あつとねのつとねのつとねのつとねの



のつち極むいんるある人ありん  
あざ死あよのいんあありん

法語

一身の身は佛ありたしくんんのさ  
うはゆめよしんんのいよ帰宮と書あり  
一帯に何よとよぬ佛のちいなり  
一あよあよとぬあらしあよよとあ  
いんあうる死人とぬありん  
ありんのもあはあはあはあは

諸行無常是生滅法生滅々已寂滅  
為樂此今のこ後なり

祐道よと人

一たうまうたうた人の身ありん  
ひのらうらうらあああ

儒道よと人

一と命性と云身の外はとあひのら  
あよあはれととより命ととと  
とと性たあはあはあはあは

佛道と云ふ人なり

一身を好くさばありの身は八万四千の悪  
ありの身うけ連はた無常なりぞんたよ  
非なり也よとわたり我家は佛と云ふ

出家精進と云ふ人なり

一出家精進とすゆは五辛酒肉を食く氣  
血甚故入りしひのうら清く守是は一有  
情皆我友也是二君臣父子夫婦兄弟  
朋友あふみのつ悪きいんせんと云ふん

いれと云ふ心なり

一ある人民とあるも事さふ人なり  
冬は寒き衣を何と  
飢は食を何と  
一少将ありと云ふ人嚴ゲシに世に  
られ

才一 慈悲

才二 安欲

才三 万依怙あり

此三行は心も身も口も正しく  
まじく行はれりては  
一釋迦よまじく行はれりては  
形  
妄と妙と存行く妙法と  
阿字と名符く真言と  
佛と名符くあまのまじく  
四十九年一字不説との終ふ根本なり  
故也元來はたしあまのまじく

ゆへに此一字はたしあまのまじく得道す  
と弾とらあまのまじく

一諸の徳と名符くあまのまじく  
あまのまじく  
す徳と名符くあまのまじく  
一大名高徳と名符くあまのまじく  
さまのまじく徳と名符くあまのまじく  
今世と名符くあまのまじく  
と名符くあまのまじく

よき事なりしをばしむるは  
まじき事なりしをばしむるは  
同生替事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは

ちよ念行也今もはしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは  
わが事なりしをばしむるは

一 其のありていふありしものありていふこと  
くあり大徳人のありていふことありていふこと  
さゆりありていふことありていふことあり  
道人とありていふことありていふことあり

我菴門徒中よ法度と事

一 坊主はこれのたむらひ也其所作而後世  
と大徳人也

一 修行果満而人の仰とありんと死てこれ  
重寶也万渡世と仰のことと大徳人の仰と

まかり

一 紙中後と後とていふ事あり

一 年常身とていふことありていふことあり

とていふことありていふことありていふことあり

一人よりいふことありていふことありていふことあり

女然とていふことありていふことありていふことあり

とていふことあり

一 修行の道とていふことありていふことあり

ありていふことありていふことあり

二夜をあらすともあらすはたかひの事  
 ありあはれなる事なりかたしき事なり  
 ありあはれなる事なりかたしき事なり  
 目あめあめなりなり  
 一大道成就せむ事なりあはれなりなり  
 一はつしきの事なりあはれなりなり  
 右九ヶ條書よまの事なりあはれなり  
 の事なりなり  
 一人なりなりなりなりなりなりなり

是大道愚痴なりなりなりなりなり  
 中心なる事なりなりなりなりなり  
 道なりなりなりなりなりなり  
 一人なりなりなりなりなりなりなり  
 一人なりなりなりなりなりなりなり  
 一大道なりなりなりなりなりなり  
 一人なりなりなりなりなりなりなり  
 志なりなりなりなりなりなりなり  
 一人なりなりなりなりなりなりなり

志願の心なり

一 我心よりさきく見んとす人なり

又、心のじやうほうよくしるし思ふ

見る所の法をその物の法とす

一 ありき事とありき事とをわかれりておぼしめ

何院あるんといふと王の法を言ふのそく

一 その道くのしるし人よきしるしなり

しるし法師と信よりしるしありき事とす

法師より信のしるしありき事とす

志願へしるしをたおちりしるしなり

く死時人の心なりしるしなり

おちりし事ありきよ武王乃我家の事なり

しるしなりしるしなりしるしなり

あつた事なりしるしなり

一 弔ぐ事子死靈と弔事と同一身と

消す事なりしるしなりしるしなり

しるしなりしるしなりしるしなり

しるしなりしるしなりしるしなり















ある老瓦心經ノ注のこまやうれを  
をお尋ねを三れともひり人  
のこまひりハヤカカシトナ  
けくいとあわれよおひひかろうと  
をくりミすことえをうへ作る也  
摩訶訶ハ大也オナキラ云般若ハ何モナキ取ヨ  
リ出ルチエラ云波羅蜜多ハカヨリ出ルチハ  
イツクニモトハコトはくすことハちかぬ也心經オノ  
惡消つと云ラ云其ヨリ出ル皆經也

從是未ハ注也

觀自在菩薩名レハ我ニ有ホキツ也行深  
般若波羅蜜多時オラナクヌルヲ云  
照見五蘊皆空オナキコトタシカ也度一切  
苦厄オナケレハクルシニキ也舍利子女人ヲ升ス  
色不異空、不異色オトユクカトヒトツ也  
色即是空、即是色イヨ、ハ落ツキ何  
モナキ形也悟ニ知ヘシ形ノアク消ル時形ナシ色ヲ思ヒ  
宝ヲ證トキ必形有是ニテワキハ知ヘシ受想

行識亦復如是色サハ空ス六受起リ識も  
なまき也舍利子亦同是諸法空相云  
 不及不生不滅コクウニ何モ生セス滅セス也垢  
 不淨コクウニキタナキヲモキレナイルヲモナシ不增  
 不减コクウニオナキモルヲモナシ是故空中  
 云ニ不及無色無受想行識コクウト  
 比トツニナレハ何モナキ也無眼耳鼻舌身  
 意コクウニナキ也無色声香味觸法モト  
 ヨリナキ也無眼界乃至無意色界前二同

無之明亦無之明盡サ明モナシ又サ明ウキテ

ナキト云フモナシ元ナキト云フナキト思フナキモ

ナカレ乃至無老死亦無老死盡亦同無苦

集滅道云ニ苦ナシ集ナシ滅ナシ道ナシ無智

亦無得云ニ智ナシウルナシ以無所得云ニ不及

故菩提薩埵バ及リ人ニモ及リ也依般若若羅

蜜多故オヲナクスル身一也心無罣礙、

故無有恐怖オナキカモトヨリカニラル、ナナシ

遠離一切顛倒夢想オナキカ一切ウ口タハルヲ

十シ何モカモ八十レハ少也究竟涅槃トキヤウ子  
シハ生死ナキト也三世諸佛云ニ不及依般  
若波羅蜜故オナキヲ云得阿耨多  
羅三藐三菩提死人ノイキカヘルカ如シ故知  
般若波羅蜜多是大神呪云ニ不及是  
大明呪云ニ不及是無上呪コレヨリウヘナキ  
也オナクスルスヘメ此是無等ノ呪何モクラフル  
オナキニ也能除一切苦真實不虛一切  
ノ苦スキトナシ故說般若波羅蜜多呪

オナキ取ヨリナスヲノ有カタキト云即說呪曰  
イフニ不及羯諦！波羅羯諦波羅  
僧羯諦菩提薩婆訶

心那くオも消えて、何もの母

いひりりりりなりや

なりりりり

至多卷之







佛法天地の内の靈とて大智なり  
人の天地をわさちとともな故あり

心

佛と云神と云天道と云菩薩と云如来  
と云を難ある人の心とて云也

心中一物もあ

心の動才一慈悲あり和あり直や

妻親小向の忠と思親小向の孝也  
夫婦兄弟朋友小む之は其親也

乃とた〜〜〜と云んと思はるの心意

ありわくもあはるのあり

心と妙と云何字と云阿弥陀と云悟

と云母慈りりりしがわくもあはる

ハゆらと云事あり必無人と云りらる

る其身の心ゆらあななりを親也

人志といふよく所ハ其身の心より

よといふ事あはる心ありあはる

あはらるる人ハ其なりなり



万物と云ふこのれて大いんらくある  
故格示と云移るもむ方事あり  
故仏と云うもひあ

身と滑ても滑てもいせん  
修好もこのりていりたり

ういひま

人はひあおあまは事

人おたまはれくらくら  
されと悦事

人乃死と云りく執死と云り

人の是性と云りひあ不性法

本来身と云り人は命と云り事

佛なる法と云り法

仏乃不入の身守事あり

三移んも移る人乃身の佛と不致

真とら家と云りれりも云り事

悟と云く仏法と云悟人まれあり

一念と云氣ひ移る人乃事あり



延寤具四丙辰仲夏望寤為

前中奥去有六此六物去

延付るよよのて板り商を

是をよよ物に女平

